

研究通信	研究の柱について	能美市立寺井中学校 研究部
No.1		2020年4月3日（金）

研究の柱：授業づくりのキャッチフレーズ「**7+3=10**」

柱①：学習の基盤づくり【別紙参照P7】

- ・「授業を高める7か条」

柱②：「わかる」「できた」を実感できる生徒主体の授業づくり【別紙参照P6】

- ・「授業改善3つのポイント」
- ・「学習習慣や学力の定着」に向けた取り組み
- ・「単元マップ」の活用



柱①：学習の基盤づくり

◇授業開始・終了のあいさつについて **「授業を高める7か条」の一つ**

◇目的 授業の始まりと終わりを明確にし、けじめをつけさせる意義と、あいさつが形式だけの曖昧なものにならないようにする。特に礼と着席が一緒になってしまうことを防止させる。

※あくまでも教科の特性に合わせて結構です。（英語・英語によるコミュニケーションなど）

【開始時】※学年委員号令

〔始業のチャイムで開始〕

(1)「起立」

- ・生徒は、席から立ち上がり、自分の椅子を机の中にしめる。

※特別教室等では、机の下に入らないようなら椅子の横に立つなど工夫してください。

(2)「気をつけ」

- ・姿勢を正す。顔を上げる意識を持たせるためにお願いします。

(3)「礼」「始めます。（お願いします。）」

- ・礼は、会釈（首が傾く程度のもの）ではなく、腰が軽く曲がる程度の礼になるようにします。

- ・声は、つぶやきではなくしっかりと音声になるように心がけてください。

先生方も率先垂範として同じく声に出してください。よろしくお願いします。

(4)「着席」

- ・椅子を出し着席する。座り方としては、あまり深く腰掛けず、背筋を伸ばし、相手と目線を合わすような姿勢となるようにしてください。

【終了時】※学年委員号令

〔終業のチャイムで終わる〕

- ◇(1)・(2)・(3)の礼までは開始時と同様。

- ◇(3)の声は「終わります。（ありがとうございました。）」

- ◇終了時は「着席」号令を省きたいと思います。

※保健体育科では、礼が終わった後、教師の「わかれ」の号令で動きだしてもいいようにしています。



◇授業規律について **本校における「授業規律」3つの視点**

①授業三悪の防止

「チャイム着席ができない」「忘れ物がある」「私語がある」状態をなくすため、「チャイム着席」「学習準備OK」「授業に集中」している状態で授業を進めることを徹底したいと思います。

②始業・終業のあいさつの徹底 ※教科の特性に応じた方法で。ただし、きちんと行う。

「けじめ」を持つこと（声が出ることも含む）、授業に向かう姿勢づくりを指導したいと思います。

③活動場面「聞く（聴く）・話す・書く（動く）・考える」のルールと雰囲気確立

静かに聞ける（聴ける）、心ない言葉がない、有意な発言がある、しっかり書く（動く）が存在し、話し合いや学び合い活動が安心してできる環境づくりを目指したいと思います。

柱②：「わかる」「できた」を実感できる生徒主体の授業づくり

◇授業ガイダンスにあたって

1. 今年度の各教科のスタートにあたる「ガイダンス」にあたっては、各先生方の導入方法は多々あると思いますが、『学びのみちしるべ』教科版などを用いて、生徒に各教科の「ポイント」や「見通し」、評価に関して確認していただくようお願いします。
2. 各教科における家庭学習の方法やポイントを必ず説明してください。どのように復習（ドリル形式も含む）や予習が役立つのかも具体的にになると生徒たちも学習を進めやすくなります。特に5教科においては、家庭学習の充実を図る方策として宿題（週末課題）の充実がありますのでよろしくお願いします。
3. 1年生に対しては特に丁寧をお願いします。小学校とは大きく違い、中学校は教科担任制で行われ、各教科とも内容的に系統だってくるため、教科の特性や身につけていくべき力もしっかりと伝えていく必要があります。また定期テストに向けて、家庭学習を計画的に実行する力が大切になることを伝えてください。

◇年間指導計画について

- ・昨年度末に修正された各教科の年間指導計画のデータが以下の場所にあります。
各教科で再確認後、週案に綴ってご活用ください。

【データ保存場所】

年間指導計画〔1800教務〕→〔1980年間指導計画〕→〔R2年間指導計画〕→各教科